

平成30年6月1日

関西電力株式会社  
美浜発電所長 宮越裕久 殿

美浜原子力規制事務所  
統括原子力運転検査官 馬場康夫

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について（指導）

平成29年4月1日から平成30年3月31日に行われた、美浜発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。取組要請事項については、確実に実行されるよう求めます。

記

（取組要請事項）

【作業管理】及び【事故・故障等の未然防止に取り組む組織】

平成29年度は労働災害が増加したことから、アクションプランを展開し、発生した労働災害を踏まえ見直し・強化を図るなどの取組を展開しました。このため、引き続き現場作業（準備・後片付け等の付随行為を含む。）に内在する危険性を把握するとともに、問題を予知し、労働災害を未然に防止する取組の充実等、「作業管理」及び「事故・故障等の未然防止に取り組む組織」の更なる充実に努めて頂きたい。

（奨揚がふさわしい取組）

安全文化の評価をより効果的に行うため、評価の指標の改善に取り組んでいることから「自己評価または第三者評価」の改善が図られていると判断します。

(総合所見)

今年度の計画に揚げた取組は、発電所全体で実施されたことを確認しました。また、安全文化に係る評価の指標の改善に取り組んでいることから「継続的な改善が行われてきている」と評価します。

また、劣化兆候については、平成29年度に発生した労働災害に関し、「作業管理」及び「事故・故障等の未然防止に取り組む組織」の要素では若干の懸念があるものの、アクションプランを策定し、発生した労働災害を踏まえ見直し・強化を図るなどの取組を展開していることから「改善傾向が見られる。但し自己満足することなく継続監視が望まれる」と評価します。

「取組要請事項」を踏まえて、PDCAを廻し、なお一層の安全文化の醸成を進めて頂きたい。

以上